

科 目	小児看護学Ⅰ（健康な小児の成長を支える実習）				
時間数	1単位 40 時間	授業方法	実習	授業時期	3 年
実習場所	十全保育園 社会福祉法人三恵会コミュニティハウス三恵				
ねらい	成長発達途上にある子どもと家族の相互作用を理解し、健全な成長発達の視点から子どもの権利を尊重した看護を展開する基礎的能力を養うと共に母親役割、父親役割を知り、自らの育児観を育むことができる。				
目 標	健康な子どもの特徴と成長発達を理解し、保育と看護の関連性について学ぶ				
授業計画					
内容	1. 小児各期（乳児、幼児前期、幼児後期）の特徴と成長発達の原則 2. 小児の生活と「しつけ」の援助に必要な知識、技術、態度 3. 集団保育の実際について学ぶ 4. 保育所における健康管理 5. 保育と看護の関連性について自己の考えを深める				
評価方法	小児看護学実習Ⅰ評価表、適性態度評価表を総合して評価する				

科 目	小児看護学Ⅱ（健康問題のある小児の看護実習）				
時間数	2単位 80時間	授業方法	実習	授業時期	3 年
実習場所	十全総合病院 県立新居浜病院				
ねらい	成長発達途上にある子どもと家族の相互作用を理解し、健全な成長発達の視点から子どもの権利を尊重した看護を展開する基礎的能力を養うと共に母親役割、父親役割を知り、自らの育児観を育むことができる。				
目 標	1. 子どもの特徴が理解でき、健全な成長発達の視点に立って看護を考えることができる。 2. 子どもの発達段階を考慮し、一人の人間として尊重した看護の展開ができる。 3. 看護技術の実施時は安全・安楽に留意し事故防止に努めることができる。 4. 子どもの看護をとりまく医療・保健・福祉の連携について理解する。 5. 子どもと家族の相互作用の大切さを理解し、自らの育児観に生かすことができる。				
授業計画					
内容	1. 小児にかかわる外来での診療の補助 2. 乳児健診 3. 予防接種の介助 4. 小児にかかわる検査や処置の介助				
評価方法	小児看護学実習Ⅱ評価表、適性態度評価表を総合して評価する				